

# 一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）における 行動計画の改定について

平成17年4月に策定した「川崎市一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）」における行動計画では、平成21年度までの5年間に行う具体的施策が定められています。本計画策定後3年が経過していることから、施策の進捗状況、社会情勢の変化及び制度の改正等に対応するため、3Rを基調とした循環型社会の構築と低炭素社会の実現に向けて平成21年4月に行動計画を改定しました。

## ○新たな目標

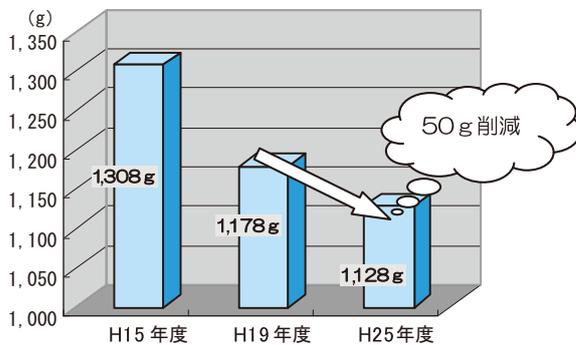
◇計画期間 平成21年度から平成25年度までの5年間

◇行動計画の目標・指標（平成19年度を基準年）

### ◇目標

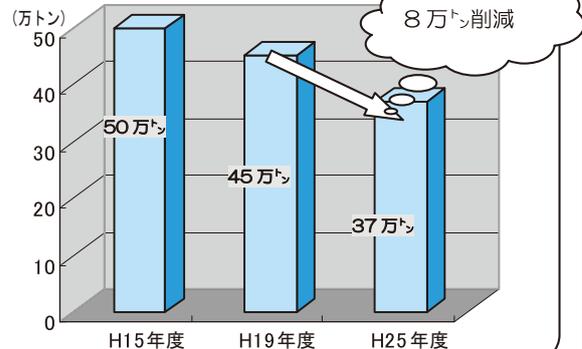
#### ①ごみの発生抑制の推進

市民1人1日当たりに出すごみ量を50g減量し、1,128gにします。



#### ②焼却量の削減

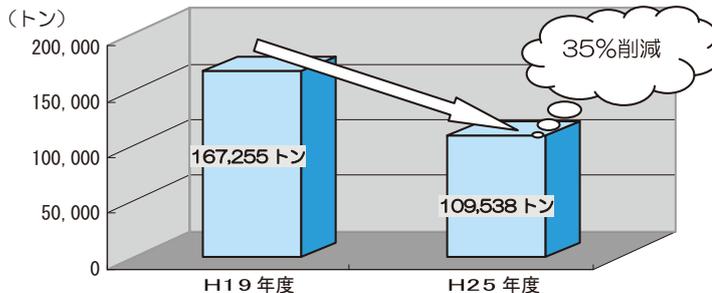
ごみ焼却量を8万トン削減し、37万トンにします。



### ◇指標

#### 温室効果ガス削減率

廃棄物分野における温室効果ガス排出量を35%削減します。

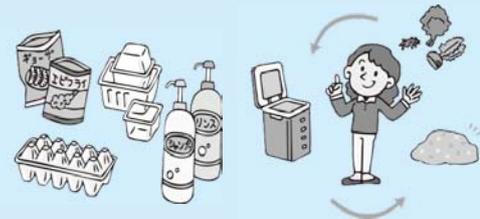


## ○目標に向けた重点施策

目標達成に向けて、優先的に取り組むべきものを「重点施策」として位置付けました。

### 【主な重点施策】

- ◇ ミックスペーパー分別収集の拡大
- ◇ その他プラスチック製容器包装の分別収集の実施
- ◇ 「かわさき生ごみリサイクルプラン」の推進



「循環型社会」の構築に向け、市民・事業者・行政の協働のもと3R（リデュース〔発生・排出抑制〕、リユース〔再使用〕、リサイクル〔再生利用〕）を基本として、ごみ減量・リサイクルを推進し、地球環境にやさしい持続可能な循環型のまちを目指します。